

## ■ 目 次 ■

### 『朝鮮古代中世科学技術史研究—古朝鮮から高麗時代までの諸問題』

まえがき

#### I. 古朝鮮の諸問題

古朝鮮の石刻天文図	金東日	11
古朝鮮の支石墓に描かれた北斗七星	金東日	19
支石墓星座図を通じてみた古代気象天文観測の特徴 .....キム・チュンギル、キム・ジョンスン		26
古朝鮮の哲学思想	鄭聖哲	30
古代朝鮮の金属技術の研究	全相運	41
古代朝鮮の製鉄技術	康忠熙	70
朝鮮の原始時代および古代の金属片遺物分析	崔尚浚	89
楽浪遺跡の金属遺物について	姜承男	97

#### II. 三国時代および後期新羅・渤海時代の諸問題

三国時代の科学技術	全相運	111
高句麗古墳壁画の概観	朱榮憲	146
高句麗の天文学的知識	兪尚哲	153
平壤遷都前後期の古墳壁画に見られる北斗七星	金東日	162
キトラ古墳壁画に与えた高句麗古墳壁画の影響	全浩天	168
瞻星台をどのように見るべきか—瞻星台解釈の歴史と新羅時代の天文観— .....李文揆		174
高句麗の建築とその歴史的位置	韓仁浩	204

#### III. 高麗時代の諸問題

高麗の科学技術と印刷技術の発展	任正赫	243
10～12世紀高麗前期の科学	李容泰	264
13～14世紀高麗後期の科学	李容泰	282
『高麗宣明曆』に関する考察	韓永吉	296

『授時曆』受容と『七政算』の完成	朴星来	347
14世紀の高麗の天文計算で利用された補間法について	ソン・チャンホ	385
八万大藏經の製作と保存技術	康忠熙	390
開城高麗宮の文化遺産の価値	金東旭	407
高麗磁器の技術的分析	崔尚浚、その他	420

朝鮮科学技術史略年表  
 朝鮮科学技術史主要文献

あとがき

## ■ 総目次 ■

### 『朝鮮科学技術史研究－李朝時代の諸問題』

李朝科学技術史の特徴と基本性格	任正嫻
李朝時代の技術教育	ロ・ユンジョン
李朝時代の医学書出版事業の特徴	洪淳元
李朝前期手工業の性格について	朴時亨
一五世紀の諸科学	李容泰
『世宗実録』に関するいくつかの考察	キム・スニイル
弘文館に関する歴史的考察	リ・ジン
朝鮮実学派とその著書	リ・チョルファ
朝鮮実学派の科学思想	チェ・ドンジョン
李朝後期における手工業の変遷	朴時亨

李朝後期の金属加工業の形態について	全錫淡、許宗浩、洪憲裕
一九世紀開国以前の諸科学	李容泰
金正浩『大東輿地図』の版木と獄死説	任正嫻
『漢城旬報』と開化思想	李相昊
交通運輸の発展と近代的通信の出現	金洸鎮、チョン・ヨンスル、ソン・ジョンフ
李朝末期の近代建築	リ・ファソン

### 『朝鮮近代科学技術史研究—開化期・植民地期の諸問題』

朝鮮近代科学技術史研究への視点—まえがきにかえて—	任正嫻
開化期の近代科学受容	朴星来
1860年代における科学技術政策の推移	金成根
朝鮮開化派の近代化と福沢諭吉	任正嫻
朝鮮末期近代保健医療体制の形成過程とその意味	申東源、黄尚翼
牛痘法の政治学—啓蒙された近代か？「近代」の「啓蒙」なのか？	申東源
植民地期における科学技術者の形成について	金根培、朴星来
日本統治下朝鮮の高等工業教育に関する一考察— —京城帝国大学理工学部の成立との関連で—	李吉魯
朝鮮総督府の電發送計画に基づく1930年代初期の朝窒のアルミナ製造研究と 朝窒の技術体系	姜雄
日本窒素肥料興南肥料工場の化学技術体系の分析	姜雄
朝鮮における日本の研究機関による放射性鉍物の探査および採掘について —原爆開発計画二号研究との関連における考察—	任正嫻
朝鮮鉄道の植民地的性格についての一考察	高成鳳
金容瓘の発明学会と1930年代科学運動	林宗台
霸道に抗する王道としての医学 —1930年代朝鮮における東西医学論争から—	慎蒼健
李升基のビナロン研究と工業化	金兌豪
物理学者都相祿の研究活動と解放直後の社会活動について	任正嫻